

消防学校だより

令和5年7月号

発行年月日 令和5年7月31日
発行 宮崎県消防学校

救助科（水難救助訓練）

7月3日(月)・4日(火)で水難救助訓練を行いました。1日目は本校プールにてシュノーケリング等の基本訓練を行い、2日目は、グリートダイバーズからマスターインストラクターの 福田 道喜氏に講師に来ていただき宮崎海洋高校潜水プールで潜水訓練を実施しました。



救助科(メンタルヘルスと惨事ストレス)

7月5日(水)、メンタルヘルスと惨事ストレスについて、臨床心理士で公認心理師 首藤 啓介先生に講義していただきました。

凄惨な現場では、時に、心に大きな傷を負うことがあります。救助隊員だから、消防職員だからと我慢せず、心への適切な対応を修得し、深刻な状態にならないようにしましょう。



救助科・初任科（国際消防救助隊）



7月5日(水)、令和5年2月6日に発生した、トルコ・シリア大地震へ国際緊急援助隊の一員として派遣された、宮崎市消防局 一井 亮太司令補から、派遣成果について講話していただきました。

はじめに、国際消防救助隊登録隊員が、日々どのような訓練を実施しているのか、国際緊急援助隊の組織体制等、概要の講話の後、トルコ共和国地震での発災から派遣隊員の招集・派遣まで、現地での活動状況など、現地に派遣された者だから分かる苦悩や大変さを伝えてくださり、救助科生、初任科生共に貴重な話が聞けました。

救助科（海上保安庁の災害対策）

7月6日(木)、第十管区海上保安本部、鹿児島航空基地、宮崎海上保安部から海上保安官に来ていただき、海上保安庁の災害対策について講義をしていただきました。

他組織の体制や活動内容を理解するとともに、災害時には相互協力し、柔軟に対応することが防災関係機関には求められます。

地域と住民を守るという共通目的のため、今後とも協力体制を継続していただければと思います。



救助科（航空消防）

7月7日(金)、県防災救急航空隊 甲斐 文雄隊長から、航空消防について講義していただきました。

講義では、航空消防活動、要請時のポイント、新機体導入について等、本県の航空消防事情について話していただきました。救助科学生の中には、防災救急航空隊員を目指す者もあり、とても有意義な講義となりました。



救助科 (USAR)

7月10日(月)、宮崎市消防局高度救助隊から講師に来ていただき、USARに関する講義、技術指導を終日実施していただきました。

講師の大野 祐平消防士長から、「我々がプロとして消防救助に従事している以上、安全・確実な活動を圧倒的な速さを持って遂行しなければならない。」と熱い指導を受けました。



救助科 (災害救助犬)

7月11日(火)、NPO法人SEARCH DOG人吉から講師に来ていただき、災害救助犬について講義を受けました。震災時、人の何倍もの嗅覚を活用し要救助者の捜索に大きな力を発揮してくれます。災害救助犬の能力と捜索時の救助犬への対応を学びました。



救助科 (震災対応訓練)

7月12日(水)、南海トラフ巨大地震が発生した想定で、震災対応訓練を実施しました。

発災から初動活動、要救助者救出完了までの訓練を実施しました。ブリーチングや救出手技を体得することはもちろんですが、長時間の活動を行うことで、ヒューマンエラーや不安全行動の発生要因も体感できたと思います。



救助科 (学生企画訓練)

7月13日(木)、救助科課程の訓練総括として、学生企画訓練を実施しました。訓練計画、安全管理、実施場所選定、想定付与など学生主体で実施し、交通救助、低所救助に取り組みました。

2小隊想定 (交通救助)

1小隊想定 (低所救助)



7月14日(金)、第34期救助科は全てのカリキュラムを修了しました。

初任科（車両破壊訓練）

7月3日(月)、帝国繊維株式会社、LUKAS JAPAN から講師に来ていただき、救助資器材を使用したの車両破壊訓練を行いました。様々な資器材を使用して自動車を破壊出来た事は、初任科生にとって、とても良い経験となりました。



初任科（救急）

7月4日(火)、バックボードやメインストレッチャーを使用して、救急車への患者収容訓練を行いました。

メインストレッチャーの諸元を理解し、患者に衝撃を与えずに収容する事を訓練しました。



初任科（水上安全法）

7月6日(木)、日本赤十字社から講師に来ていただき、水上安全法を実施しました。

ペットボトルや救命浮環での救助、水上での救助法などを学びました。



初任科（応急はしご訓練）

7月12日(水)、応急はしご訓練を訓練場から場所を移し、本館や寮を使用して実施しました。

活動環境が変わっても、これまで訓練してきた基本を厳守し活動すれば、その環境に合わせた活動が出来る事を確認できました。



初任科（検索救助訓練）

7月24日(水)、検索救助訓練を実施しました。消防救助の原点は火災救助です。確実な基本行動を身に付けさせ、迅速な要救助者の検索と、自らの身体を守れる行動が出来るようにします。



初任科（自主研究企画）

7月27日(木)、学生による自主研究企画を実施しました。講話対象の年齢設定に沿い、各班がそれぞれ日用品で出来る応急措置や、防災について、消防団の普及など様々な内容で発表しました。

各班とも、内容をしっかりまとめ、伝えたいことを、わかりやすく発表しました。



初任科（消防活動訓練）

7月28日(金)、消防活動訓練を行いました。火災現場において消火活動を行うには、放水が必要です。

放水するためには、水利の確保が必要であり、その水をポンプ車等により適正圧力で送水する。送水された水を摩擦損失無しで送るには、ホースをまっすぐに伸ばす。そして筒先まで届けられた水で消火する。この基本的動作を安全確実に、迅速に出来るよう繰り返し訓練を行いました。



8月の主な行事

- 初任科実務研修 7月31日(月)～8月5日(土)
- 通信指令研修 8月23日(水)・24日(木)
- 無線資格取得講習 8月25日(金)

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp